

### 3 . 測定目的

測定に当たっては、目的によって測定点、測定時期、測定方法等が異なるので、目的を明確にする必要がある。低周波音の影響、評価、対策を行うために測定を行うのであるが、測定の目的として主として以下の場合が考えられる。

#### (1) 苦情対応

低周波音によると思われる苦情が発生した場合。

なお、振動によると思われる苦情（主に建具等の振動の苦情）の中にも低周波音が原因である場合もあるので、注意が必要である。

#### (2) 現況把握

環境影響評価にあたり、当該地域の低周波音の現況を把握する場合。また、低周波音の環境調査、実態調査等を行う場合もある。

#### (3) 対策および発生原因の解明

発生メカニズムの解明や音源探査などの詳細な測定が行われる場合もある。

#### (4) 対策効果の確認

対策の前後に測定を行い、対策の効果を確認する。